

福井県高P連 会報

発行人 福井県高等学校PTA連合会
 (福井県生活学習館「ユウ・アイふくい」内) 井上博之
 URL: <http://koupren-fukui.gr.jp/>



令和4年度春季高校総合体育大会水泳(競泳)競技



会長挨拶 信頼関係の再構築を

井上博之

本年度、県PTA連合会の会長を務めさせて頂きます高志高等学校・中学校PTA会長の井上博之です。

先般、各高校の新PTA会長の皆さんとお会いする機会がありました。そこで、会長になった経緯を伺いましたが、会長を歴任されてきたベテランの方や、初めて役員に選任され、いきなり会長になられた方など様々でしたが、お仕事や家庭で大変お忙しい中、頼まれたからには、何とかその任を果たそうという心意気を持った皆さんばかりでした。さすがは各高校を代表される方々で、個々の人柄の素晴らしさと責任感を持った姿勢に感銘を受けました。そうした皆さんと共にPTA活動に携わること、私も勉強をさせて頂き、少しでも成長できればと考えています。

このように、リアルで各校PTA会長の顔合わせが出来たのも、世の中が徐々に平常に戻ってきたからです。その点につきましては大変喜ばしいことです。一方で、やはりこの数年間の負の影響は確実に存在しており、その一つが、生徒・保護者・先生の三者の間にある溝が広がってしまったことだと考えています。

それぞれの信頼関係を再構築し、溝を少しでも埋め距離を縮めていくことが、子どもたちの健全な育成と学力の向上にも繋がると信じて、PTAとして少しでもお手伝いができればと思っています。

「生徒を信頼すること、親を信頼すること、先生を信頼すること」は、PTA会員の皆さん全員ができる最も身近な取り組みです。そして、選任された我々PTA役員にとりましても、是非ともご協力をお願いしたい点です。

この数年間、活動は停滞しましたが、「何が必要・不要なのか、PTAとはどうあるべきなのか」を考える期間でもあったと思います。負の影響だけで終わらず、そうした経験を活かし、各校のPTA活動の再設計が進めばと思っています。

県高P連会長として、北信越地区や全国大会に参加する機会があります。全国的にPTA活動について議論が高まっている昨今、意見交換を行い情報を入手し、各校の方々と情報共有をしていきたいと考えています。

また、せっかくPTA役員として選ばれたので、楽しかったと一年後には思ってもらえるような活動にしたいと思っています。
 一年間、どうぞよろしくお願いたします。



県教育委員会表彰



県高P連会長表彰



広報紙コンクール優秀作品表彰

になります。各学校では、生徒全員の進路実現を全力で支えて参りますので、PTAの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。ところで、皆様もご存じのように、今年度から新しい学習指導要領による教育課程が一年生から年次進行で実施されています。今の時代は先行きが不透明で、将来の予測が困難なVUCAの時代と言われていますが、このような時代に受け身の姿勢では社会に取り残されかねません。自ら考え主体的に行動する姿勢、自ら問いを立てる姿勢が求められます。そのためにも協働することも必要になると思います。新教育課程では「生徒が主語」の教育が言われており、生徒が主体的に活動する教育の実現に向けて、各校ともに精一杯取り組んでいます。生徒が主体的に行動できるようなことにはなかなか難しいことだと思います。生徒が多岐の知識や経験を持つことで、自分の進みたい方向性や学びたいことに気づき、それが原動力となって主体的な行動に繋がるとも思います。学校では課題研究や探究等を通して生徒の経験値を高める多くのことを準備していますが、学校外でも多くのプログラムが企画されています。生徒が多岐の経験を積んで経験値をあげるためにも、保護者の皆様におかれましては、生徒が望むプログラム

に参加することを後押ししていただきたく存じます。学校とご家庭がしっかりと連携していくことで生徒は大きく成長することになります。その意味でもPTAの役割は非常に重要ですので、今後とも、皆様からの格別のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。と挨拶されました。

来賓祝辞の後、表彰状贈呈に移り、PTA活動に特に功績のあった五名が県教育委員会から表彰され、各校PTA活動に貢献された四十五名の方々が当連合会会長から表彰された。続いて広報紙コンクールの表彰が行われ、最優秀賞坂井高校PTA以下九校のPTAが表彰された。次に、表彰状贈呈として、県教育委員会表彰、県高P連会長表彰、広報紙コンクール優秀作品表彰が行われた。また、福井県高等学校PTA連合会に多額の寄付をいただいた丹南高等学校に感謝状の贈呈が行われた。

その後議事に移り、令和三年度事業報告、会計決算報告が承認された後、役員改選が行われ、会長に井上博之、高志高校PTA会長が選出された。退任役員を代表して小林一朗会長、新任役員を代表して井上博之会長の挨拶の後、議事が再開、令和四年度事業計画案・予算案が審議・承認され、年次総会は終了した。

第六十回県高P連年次総会 新会長に井上博之氏 (高志高校PTA会長)を選出!

令和四年度の年次総会が六月二日(木)、A OSS A 県民ホールで、各単位PTAから会員百三十名が参加して開催された。向富淳副会長の「開会のことば」の後、挨拶に立った小林一朗会長は、「昨年六月の総会から、あつという間の一年間でした。コロナ禍を一年経験して、今年もつと活動できると思ってスタートしましたが甘かったです。活動自体は周囲の皆さんに助けられてほほイメジ通りにできましたが、もつと顔を合わせ言葉を交わして、せつかくのご縁をさらに深めることができなかつたことは残念でした。振り返ると一年前、「持続可能な社会の実現のために」というテーマに二つの方針を掲げました。一つは、「デジタル化を推進し、ペーパーレス化を目指す」とことで、資源の有効活用だけでなく、先生方の仕事の見直し、「働き方改革」にもつなげる。そして、できるだけ子どもたちと関わる時間を多く取れるようになってほしいと考えていました。もう一つは、「SDGs」に関する子どもだけでなく、私たちPTAも学んでいくということ。この一年間、私たちの身の回りでSDGsへの取り組みや関心が増してきていることを実感しました。様々な



小林一朗県高P連会長



中森一郎県教育委員会学校教育監

会議や研修を通して、各校で行っている活動の情報交換を行い、PTA活動をより良いものにするの思いはありましたが、満足できる成果につなげることができなかったことは反省です。ただ、この一年間で紡いだご縁を大切に、今後にかしていききたいと思えます。ありがとうございます。」と話された。

次に、来賓として出席された中森一郎県教育委員会学校教育監は、高P連年次総会が盛大に開催されることへのお祝いの言葉と表彰を受けられる方々への感謝の言葉に続いて、現在の高校教育の課題と福井県の取り組みについて、「福井県では子どもの主体性を大切に、個性を引き出す」教育や、「学びを楽しむ」教育、地域に貢献しようとする心を育てる「ふるさと教育」を推進しています。県立学校におきましては、「生徒が主語」の学校づくりをすすめ、昨年度よりスクールポリシーの策定に着手しています。昨年度は高校卒業時に身につける資質・能力とその資質・能力を育成するための教育課程を策定しました。今年度はどのような生徒に入学してほしいのかという入学

者受け入れ

方針 (Admission Policy) を策定し、各校が高校入学から卒業までを見通した教育方針を明確にして学校づくりを進めてまいります。スクールポリシーは、生徒や保護者の皆様とともに策定すること、たえず見直しを図っていくことにより生きたものになりますので、保護者の皆様にもぜひ積極的な参画をお願いしたいと思います。普通科系高校においては、研究機関や大学との連携、海外との交流、地域探究やスポーツ探究、インターンシップを取り入れた進路支援など、各校が特色ある学校づくりを進めています。職業系高校においては、産業界や大学と一体となって職業人の育成を目指し、福井の産業や企業について学ぶオンライン授業「ふくい産」などにより、アプリケーションの開発やAI・プログラミングなどを学んでいます。資格試験の受験料の補助をするフェューチャーマイスター制度も引き続き行ってまいります。また、令和五年度には全国の職業系高校生の学習成果を発表する全国産業教育フェアが福井県で開催されます。今年度は準備委員会や生徒実行委員会を立ち上げて、準備を進めてまいります。授業においては、今年度一年生より新しい学習指導要領が実施されたのに伴い、各校では探究学習や各教科における「探究的な学び」をすすめており、一人一台のタブレット端末を活用して、それぞれの考え方を可視化したり、共有したりすることなどを通して、生徒の主体的協働的な学びを深めています。また、学校生活においては、生徒の皆さんが中心となって教員や保護者、地域の方などと話し合いながら校則の見直しを行い、これまで各校が頭髪やジェンダーフリーに配慮した制服の見直し等を進めてまいりました。今年度も引き続き生徒主体で校則を見直し、「生徒が主語」の学校づくりを進めてまいります。さらに、この四月からは成

年年齢が引き下げられお子様を取り巻く社会環境が大きく変化しています。県では、三年生に対して外部講師による金融リテラシー出前講座を実施するとともに、「一年生には「公共」や「家庭基礎」等の授業を中心に主権者教育や消費者教育を進めています。保護者の皆様におかれましては、日頃よりお子様との対話を大切にして、小さな変化も見逃さないよう、お子様が被害に巻き込まれないようご留意のほどよろしくお願いたします。最後に教員の働き方改革について、今年度より県立高校及び県立中学校にデジタル採点ソフトを導入しました。解答の一括採点などにより採点時間の大幅な削減が期待でき、先日実施された調査でも、多くの学校が活用し始めました。教員志望者が減少している現状を鑑み、本県ではDXの推進など今後教員の働き方改革を進めてまいりますので、皆様のお子様にもぜひ教員を目指していただければと強く願っています。子どもたちがそれぞれの夢を実現するためには、家庭・地域・学校の三者の連携が不可欠です。PTAの皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。同時に、福井県高等学校PTA連合会がますますのご発展と、皆様のご健勝を心から祈念申し上げます。と挨拶されました。

続いて、来賓の松下晋也県高等学校長協会長(藤島高校校長)は、年次総会が盛大に開催されることへのお祝いの言葉に続いて、「春季総会が先週末から始まりました。今週末には多くの運動部の生徒が大会に参加し、特に三年生にとっては、インターハイをかけた最後の大会となります。悔いが残らないよう全力で競技してほしいと思います。また三ヶ月後には就職試験が始まり、その後大学入試が続きます。いよいよ三年生一人ひとりがそれぞれの進路実現に向けて挑戦していくこと

一、被表彰者氏名(敬称略・五十音順)

***県教育委員会表彰**

| | |
|--------------------|---------|
| 県高P連理事・藤島高校PTA会長 | 伊東 尋志 |
| 県高P連副会長・三国高校PTA会長 | 栗原 泰道 |
| 県高P連副会長・丹生高校PTA会長 | 向 當 淳 |
| 県高P連会長・高志高校PTA会長 | 小林 一 朗 |
| 県高P連副会長・若狭東高校PTA会長 | 重 田 勝 正 |

各校より推薦されたPTA役員 四十五名

二、令和四年度県高P連役員氏名

| | |
|------------|-------------|
| 会 長 | 井上 博之 (高志) |
| 副会長 | 田中 きよみ (勝山) |
| 理 事 | 水島 正芳 (藤島) |
| 監 事 | 宇佐美 嘉一 (羽水) |

三、令和四年七月以降の主な行事

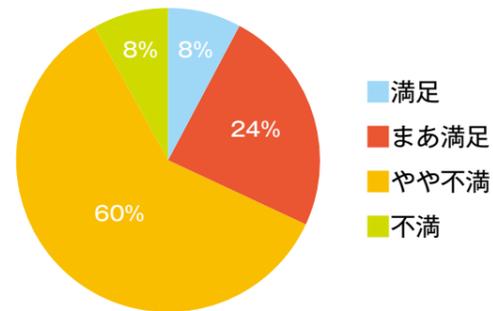
- *北信越地区高P連大会石川大会 全国大会と合同開催のため誌上開催
- *全国高P連大会石川大会 八月二十五・二十六日 ハイブリッド開催
- *キャリアガイダンス研修会 石川県産業展示館四号館 九月十日 県生活学習館多目的ホール
- *研究大会 十一月十三日 A OSS A 県民ホール

特集 ほかの高校ってどーなの？ (PTA活動についてのアンケート)

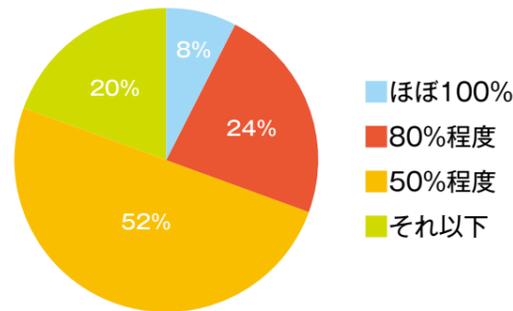
令和3年度各校PTA会長に「コロナ禍でのPTA活動」「PTAの組織」「各高校での校則の見直し」についてのアンケートを実施し26校より回答をいただきました。各校よりいただいた回答を紹介したいと思います。

コロナ禍でのPTA活動について

1 R3年度のPTA活動について満足できましたか？ (コロナ禍での活動ということも考慮して)



2 例年と比較し、R3年度はどれくらいPTA活動が実行できましたか？ (事業及び内容も考慮して)



3 これまでのPTA活動内容と変わったこと、コロナ禍ということで工夫したことなどがあれば教えてください。

- 役員同士、顔を合わせる機会を全く持てませんでした。運営委員会の参加者をやむを得ず少数に絞り、協議した内容を後日LINEで送り、運営委員全体で情報共有をしました。
- 役員会、評議委員会等の会合をzoom (PTAで年間契約) で開催。また中継装置を購入して体育祭等の行事を保護者へzoom配信実施。役員への配布資料を廃止してメールやラインを活用した。
- 予定していた懇親会ができなくなった分、LINEグループなどで情報交換を行い、結束を維持した。

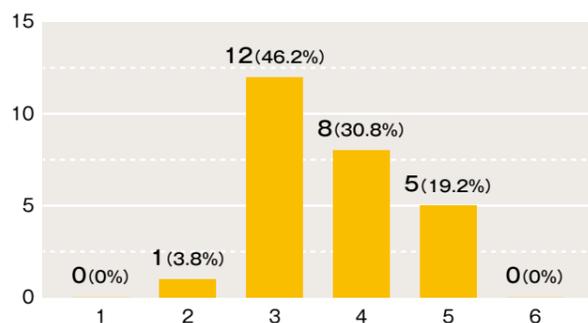
4 学校祭や学校行事への、PTA役員および保護者の関わりはどうか？

- YouTubeでの配信は行ったが、屋台などの直接的なサポートは行わなかった。
- 広報紙のための写真撮影や表彰のプレゼンターなど具体的役割がある役員が参加するのみで、その他の役員及び保護者はほとんど関わることができませんでした。
- 殆ど関わりを持てなかった。(学校より参加の自粛を要請された。)
- 役員は、入学式、学校祭などの行事には今年は参加できた。ただ、一般保護者や入学式、卒業式への他学年の参加は今年度もできなかった。

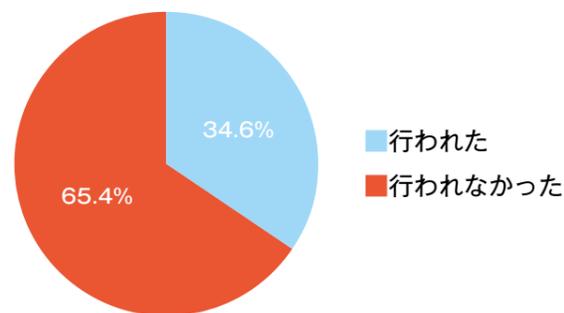
◎コロナによりほとんどの学校で学校行事やPTA活動に大きく影響がある中でも、各校様々な工夫して活動していたようですね。

PTAの組織について

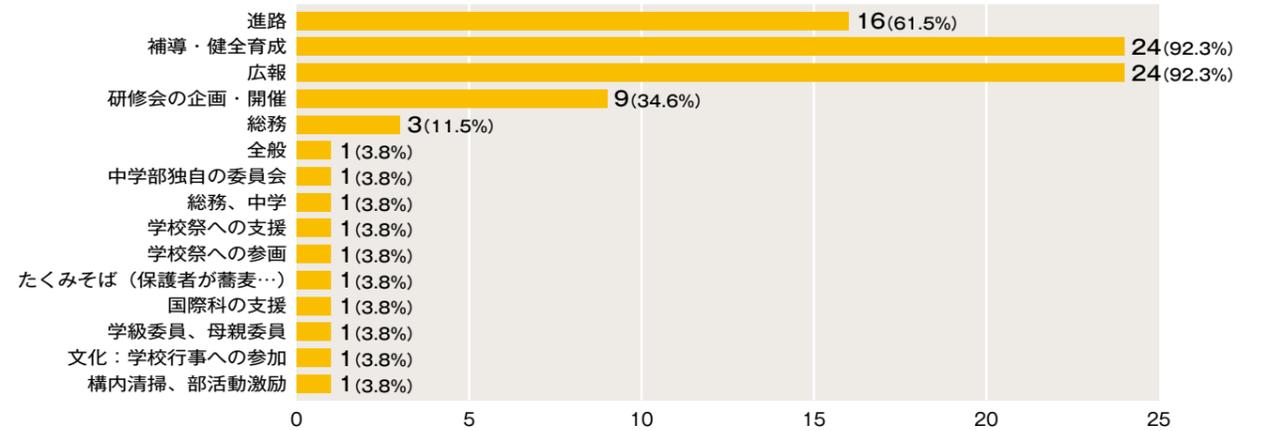
5 委員会はいくつありますか？



6 生徒数減少や負担軽減のために、事業や役員数などの見直しは行われましたか？



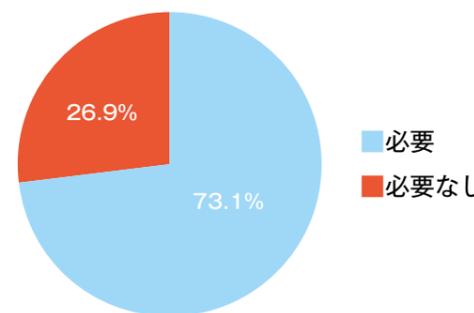
7 委員会について活動の内容が近いものを選んでください。



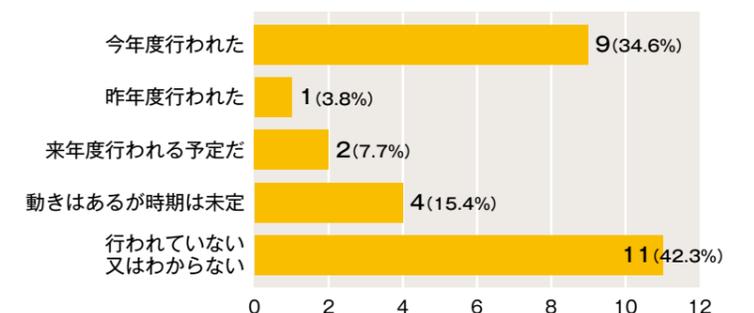
◎3~4委員会で構成されている学校が多く、進路・健全育成・広報・研修などを中心に活動されているようです。コロナの影響があったこのタイミングで事業や役員数の見直しを行っている学校もあるようです。

校則の見直しについて

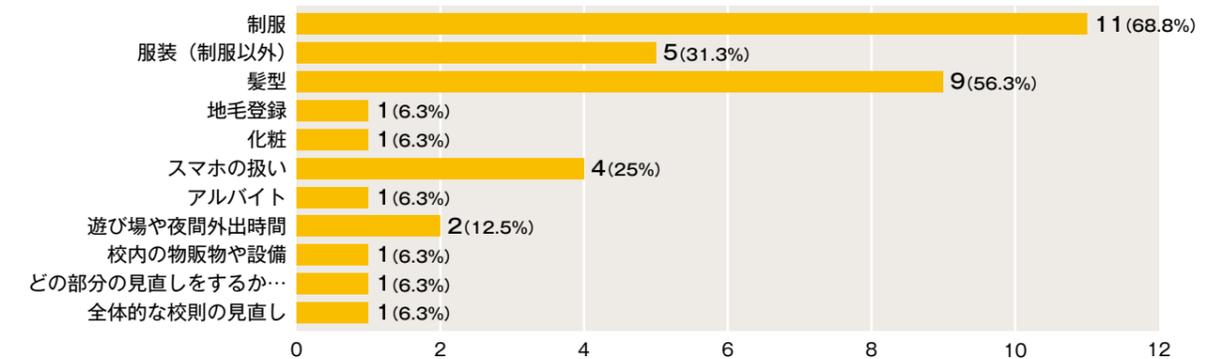
8 校則の見直しは必要だと思いますか？



9 校則の見直し活動は行われていますか？



10 校則の見直しの検討対象となった事項は何ですか？(複数回答可)



11 校則見直しにPTA(保護者)はどのように関わりましたか？

- 会長、副会長、健全育成委員会の正副委員長が、校則検討会議(校長ほか数名の先生方、生徒会役員、PTAで構成)に参画して意見を述べ、議論に参加しました。
- アンケートに協力した。
- 生徒、先生、そして保護者の3者で、校則に対して意見交換を行った。

◎校則見直しの必要性はあるという意見が73%と多い。16校においては見直しの動きがあるようです。また、制服や服装、髪型などが対象になっているようです。またPTAが見直しに関わらなかったという回答が多かったです。

第19回 広報紙コンクール 最優秀賞に坂井高等学校PTA!

令和4年度広報紙コンクールが4月16日(土)に県生活学習館において開催された。特別審査員に佐々木紀光氏(福井新聞社(株)編集局メディア整理部長)、安竹隆美氏(河和田屋印刷(株)営業部)をお迎えして、調査広報委員会の委員と併せた10名が応募のあった28団体の広報紙の審査に当たった。

特別審査員、広報委員の会議の話題の中から、各学校のPTAが今後の紙面づくりの参考になると思われるものを以下に挙げる。

| | |
|------|--|
| 最優秀賞 | 坂井高等学校PTA |
| 優秀賞 | 藤島高等学校PTA 羽水高等学校育成会 |
| 佳作 | 丸岡高等学校PTA、高志高等学校PTA 福井農林高等学校PTA、科学技術高等学校PTA 武生東高等学校PTA |
| 特別賞 | 丹南高等学校PTA |

★学校の特徴、特徴をアピールしているか。

◎内容

- ・地域とのかかわりが見える、興味を引き付ける。写真を多用しており、生徒の表情が豊かである。
- ・保護者のニーズにこたえる工夫がなされ、読み応えのある冊子になっている。
- ・入賞作品は、写真や内容が個性的で手が込んでいた。写真のコメント付きは興味がわく。
- ・コロナ特集はタイムリーだった。

◎表紙

- ・表紙がインパクトのある仕上がりになっている学校がある。
- ・保護者、読者の目線を意識した工夫がある。



坂井高校 藤島高校 羽水高校

「輝く未来への礎」を親から始める新時代の教育をテーマに、八月二十五日(木)二十六日(金)開催されます。これまでの「現地集合」だけでなく、「オンライン参加」を加えたハイブリッド形式の大会です。オンライン参加は学校単位での申し込みとなり、その学校

全国高P連研究大会石川大会

「輝く未来への礎」を親から始める新時代の教育をテーマに、八月二十五日(木)二十六日(金)開催されます。これまでの「現地集合」だけでなく、「オンライン参加」を加えたハイブリッド形式の大会です。オンライン参加は学校単位での申し込みとなり、その学校

北信越地区高P連研究大会 石川大会

六月十一日(土)に「各校PTA会長会議」がAOSSA三階ウェルアオッサにて開催されました。自己紹介の後、協議事項の審議に入りました。研究大会やキャリアガイダンス研修会等の今年度の活動について確認し、その後、四つの委員会に分かれて今後の活動計画や役割分担、講師案について協議しました。

そして、各委員会からの報告を行い、次回までの宿題を確認しました。その後の引継ぎを兼ねての教育懇談会(情報交換会)も含め、貴重で有意義な会議となりました。

各校PTA会長会議

インフォメーション

のPTA会員は、皆さん視聴できます。残念ながら現地参加できない方々はぜひ視聴してください。現地参加と両方同時に申し込むことができ、十二月末までアーカイブ配信を視聴できます。ぜひ、参加(視聴)をお願いします。

- ・二十五日(木) 十三時三十分～ 開会式・表彰式
- ・十四時四十分～ 各分科会 講演・基調講演・パネルディスカッション
- ・二十六日(金) 九時三十分～ 記念講演
- ・九時三十分～ ファミリーマート顧問 澤田貴司氏 演題「やりたいことをやる」
- ・十一時十五分～ 閉会式

訂正

福井県高P連会報 第七十二号 (令和三年十一月十五日発行)

福井県高P連研究大会実践発表において、丹生高校の向富淳会長が「コロナ後のPTA活動について」をテーマに発表されましたが、学校名が「丹生高校」のところ、「丹南高校」となっていました。訂正するとともに、丹生高校、丹南高校両校の関係する方々にお願い申し上げます。

事務局所在地

〒九八八三五 福井市下六条町一四一
TEL 〇七七六一四一四〇五三
FAX 〇七七六一四一四〇三三

ちょっとおじゃまします!

Introduction 坂井高等学校

コロナ感染状況を鑑み、上田修平PTA会長にインタビューで「おじゃまします」を行いました。また、PTA担当の先生にも学校紹介の資料提供などの協力をいただきました。同校は平成二十六年に開校しました。県内最大の総合産業高校で、農業・食品・機械・自動車・電気・情報システム・ビジネス・生活デザイン・の八コースで専門的な学びができる学校です。又、文部科学省のマスター・ハイスクール事業に採択され、デジタル時代の産業人材育成に取り組んでいます。部活動ではウエイトリフティング、自転車などが毎年輝かしい成果を上げています。野球部OBには、東京五輪金メダリストの栗原稜矢選手(現ソフトバンクホークス)がいます。生徒たちは、地域と連携した取り組みや専門的な知識を習得し即戦力として高い就職率だそうです。

PTAは「生活委員会」「総務委員会」「進路委員会」の三つの委員会構成されています。各クラスより二名ずつ選出され各委員会に所属しています。会長と、各学年より二名十教頭先生を加えた副会長七名、会計監査委員二名の計十名で執行部が構成されています。「生活委員会」は愛護センターと協働し市内の巡視、「総務委員会」は広報紙を発行、PTA目線の記事として高い評価を得ています。「進路委員会」ではロータリークラブとの協働で模擬面接を行っています。コロナ以前の学校祭では、PTA模擬店で焼き鳥を提供していました。生徒には大



学校祭でのPTA模擬店



地域交流祭

な活動が出来なかったことを上田会長も悔やんでいましたが、生徒に対する支援の気持ちに十分伝わって来ました。何度も話し合い、知恵を出し合い、コロナ禍のPTA活動・生徒支援活動を行っていることを知ることが出来ました。賑わいのある学校行事やPTA活動ができるようになり、地域に大きく貢献する生徒を輩出する支援活動ができるようになることを願っております。

(三国高校PTA前会長 栗原泰道)

変好評だったそうですが、昨年は衛生面や安全面を考慮しナゲット等の販売に変更しました。また、例年はコースの特色を生かし地域交流祭を開催しています。ファッションショーや農産物販売、ミニ列車の乗車体験などにぎわいのある交流祭です。PTAは手打ちそばを作り販売するなど、交流祭の盛り上げを図って来ました。取材を通して、思うよう

Introduction 武生商工高等学校

希望にあふれる新入学生を迎える日となる入学式の日である四月吉日、武生商工高校におじゃました。同校は令和二年度に武生商業高校と武生工業高校が合併し開校となった学校であり、越前市の市街地にある工業キャンパスと鯖江市に近い商業キャンパスの二箇所に分かれ、今年度から在校生がすべて武生商工高校の生徒となった状態でスタートを切りました。

長年にわたり武生商業高校および武生工業高校として各々が実施してきた学校事業やPTA活動があり、昨年度まではそれぞれをまとめ一つにしていく「合併」の取り組みが行われてきました。今年度は武生商工高校として一本化する初年度として、同校PTAは「総務委員会」「研修委員会」「社会育成委員会」「広報委員会」の四つの委員会組織され活動を始めました。三年後のキャンパス統合による武生商業高校と武生工業高校の各種事業・取り組みを、武生商工高校として新たにまとめあげていく「統合」に向けたステップ中と位置づけ、各委員会を取り組みを進められるとのことです。平成十八年から続く武生工業高校の伝統行事であった「たくみそば」は総務委員会を中心となり、そば打ちと販売を行う計画を進めています。武生工業高校時代は講師を招き、そば打ちの練習を踏まえながら交流を深める行事であったため、武生商工高校になってもPTA相互のコミュニケーションの場としても伝統行事を引き継ぐそうです。また、平成三年から始まった武生商業



入学式

高校の伝統行事である「武商デパート」は社会育成委員会を中心となり開催予定になっています。生徒が株主となり、仕入れ・販売を行うことで生徒が社会に本格的に出る前に多くの経験を積ませる本事業は、PTAも協力しつつ今年度も多くのお客さんに楽しんでもらう事業として開催されます。広報誌についてもまとめあげていく取り組みを始め、今年度は武生工業高校と武生商業高校の元々の広報誌をそれぞれをキャンパスで作成し、一体化させることを広報委員会が担っていくとのことでした。学校事業についても「武商デパート」の中に、工業キャンパスで制作した遊具やプログラミングを組み込んだり、合同のロングホームや課題発表を実施していくことで、二つ学校の文化を「統合」していくとの計画でした。お忙しい中、コロナ禍の中でも統合に向け活発な活動を計画されている武生商工高校の活力が見えるインタビューの時間を頂き、ありがとうございました。(武生東高校PTA前会長 先織大悟)

高校生総合保障制度 発足後28年目を迎えて

平成七年度に発足しました高校生総合保障制度も、毎年多くの加入を頂いており、保護者各位ならびに学校関係者各位のご理解とご協力のもと、当制度は各高校のPTAの事業として推進が図られています。

当制度は今年七月から施行される福井県自転車条例に適用しており、自転車による賠償事故や搭乗中の生徒本人のケガについて大きな補償を設定しています。

ところでこの時期になりますと、当制度に未加入の保護者の方から「入学時に手続きを忘れたので…」子どもがクラブ活動を始めたので…」などの理由から中途加入をご希望されるケースがあります。また、加入手続をされていない保護者におかれましては、このような場合にも備えて是非、当制度の加入をご検討いただければ幸いです。

○中途加入に関するお問合せ先
高校生総合保障制度事務局
株式会社アイル保険センター
〒91010003

福井県福井市松本4丁目6番15号
TEL: 077612313419
(受付時間: 9時〜17時 日、祝日、年末年始除く)

○保険金の請求方法
保険金の請求についてはお手元にご加入者証をご用意のうえ、事故受付専用ダイヤル(0120-3300139)までご連絡ください。

でご連絡ください。

保護者の皆様へ 2022年度版

福井県高等学校PTA連合会

適用される割引率※

15% 割引

高校生総合保障制度

ご案内

[こども総合保険 + 自転車総合保険]

学校の
休みの日でも

大切なお子さまを補償期間(保険期間)中、**1日24時間補償します**

ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。

●全プラン、学校より貸与されたタブレットの破損も補償されます。

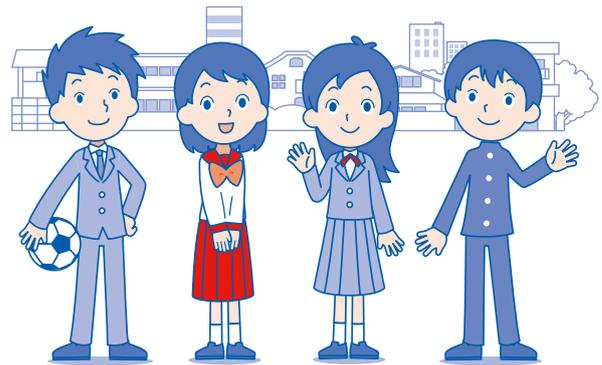
※随時中途加入を受け付けております。

自転車事故等による損害賠償責任も
最高3億円まで補償

示談交渉サービス*付き!

*示談交渉を行う場合は、被保険者および被害者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

小学5年男子児童の自転車衝突で母親に
約9,520万円の賠償命令(神戸地裁判決)



扶養者の方が事故で万一の際に
育英費用を補償

高校3年間と大学等の合計で、
約965万円の教育費がかかります!

出典:株式会社日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果」(令和2年度)

簡単支払特急便

スピード対応 お電話一本で手続き完了

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で
10万円以下のご請求は、電話による事故報告のみで
保険金をお支払いします。

プランによって補償項目が異なる場合がありますので、詳しくはパンフレットのプラン表をご確認ください。

※割引率について:パンフレットで案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の団体における保険料)に対する割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数等に応じて決定します。

引受保険会社: AIG損害保険株式会社